

事務事業評価シート

(H.30)No.	5161	(H.29)No.	5161
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生きがい活動支援通所事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	田中 克広	

会計区分	事業コード	143501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	生きがい活動支援通所事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	生きがい活動支援通所事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
高齢者等の家での閉じこもりや要介護状態になることの予防を図る。
事業内容
老人福祉センター(総合福祉センターふれあい内)の浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動や趣味活動を促進する講座等の開設。平成21年7月より利用料200円/日を徴収。月曜日から金曜日は福祉バスを無料運行。社会福祉協議会と指定管理協定(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)			
	主な事業の実績・計画	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。開館日数:298日 年間延利用者数:16,173人	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	老人福祉センター(総合福祉センターふれあい内)の浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動や趣味活動を促進する講座等の開設。平成21年7月より利用料200円/日を徴収。月曜日から金曜日は福祉バスを無料運行。社会福祉協議会と指定管理協定(平成26年4月1日～平成31年3月31日)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)	
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分				
①直接事業費		25,805千円		25,805千円	25,805千円	25,805千円	25,805千円	
内訳(千円)	国・県支出金							
	地方債							
	その他()							
	一般財源	0	25,805	0	25,805	25,805	25,805	25,805
人工数	職員		0.09人		0.11人	0.08人	0.08人	0.08人
	臨時職員等							
②概算人件費	0千円	666千円	0千円	814千円	592千円	592千円	592千円	
①+②総事業費	0千円	26,471千円	0千円	26,619千円	26,397千円	26,397千円	26,397千円	

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、健康な高齢者の在宅生活の継続に寄与している。高齢者の保健福祉サービスの一翼を担っている。名張市社会福祉協議会を指定管理者とすることで、民間活力を生かすとともに地域福祉増進のための連携を図っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
30年度末で現在の指定管理協定期間が満了するため、更新事務を行う。 高齢者の閉じこもりや要介護状態になることを防ぐためにも事業を継続する必要がある。

6. 事務事業の取組に関する市の計画